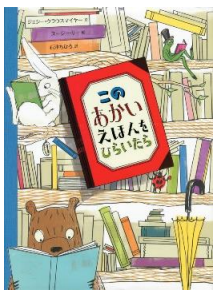
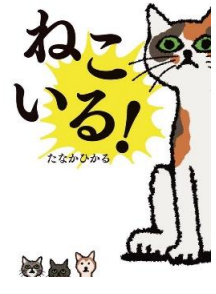




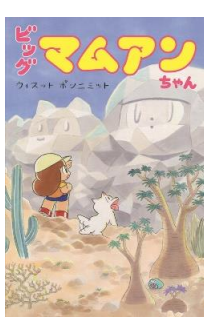







表紙	タイトル	著者	出版社	コメント（紹介した年）	分類番号
	このあかいえほんをひらいたら	ジェシー・クラウス マイヤー／文、スー ジー・リー／絵、石津 ちひろ／訳	講談社	“このあかいえほんをひらいたら…” タイトルと同じ文章から始まる不思議なお話です。 幼い頃経験したような、ページをめくると次は何が待っているのか、わくわくドキドキするあの感覚を思い出します。 ・ゆっくりページをめくってよんでみてください。 ・シンプルなしかけなのでそうぞうりよくがしげきされます。 (2023. 11)	W/Eコ
	ねこいる！	たなかひかる／作	ポプラ社	ねこいる？ねこいない？ 意外な所から飛び出すねこたち。 よく目を凝らすと隠れている姿も見えてくる。 勢いが楽しく、クセになる絵本です。 (2023. 11)	Eネ
	ぼくは本のお医者さん	深山さくら／文	佼成出版社	あなたは、本が壊れたらどうしますか？ この本に出てくる“齋藤英世”さんが、山形県で製本業をしながら、どの様なきっかけで本を直すお医者さんとなったのかや、最初に手がけた本の修理のしかたなどが書かれています。 捨ててしまうのではなく、大切に本を扱いたいと思わせられる本です。 (202. 11)	02
	かがくいひろしの世界	沖本敦子／編	ブロンズ新社	『だるまさんと』や『おしくら・まんじゅう』など、楽しく子どもに人気がある本を書かれた“かがくいひろし”さん。 絵本作家として50歳でデビューされ、4年後に病気でこの世を去られたのですが、この本には、未発表の作品も収録されています。 あなたもより深く“かがくいひろし”の世界をのぞいてみませんか。 (2023. 11)	726
	世界の駅	三浦幹男／写真	ピエ・ブックス	パラパラとページをめくると、世界中の駅が並んでいます。 文字はほとんどありませんが、ぼんやりと眺めているだけで、まるで静かに一人旅をしているように感じられます。 かの有名な9と3/4番線ホームのある駅も載っていますよ。 (2023. 9)	686

	<p>ダチョウはアホだが役に立つ</p>	<p>塚本康浩／著</p>	<p>幻冬舎</p>	<p>ダチョウが感染症対策で大活躍って知っていますか？その名も「ダチョウ抗体」！京都府立大学・学長が発明した「ダチョウ抗体マスク」は、コロナ禍でも沢山の需要があったとか。 少し難しい内容もありますが、こてこての関西弁で書かれているので、塚本学長から直接話を聞いているかのようにすらすら読めます。 (2023.9)</p>	<p>646</p>
	<p>ビッグmamアンちゃん</p>	<p>ウイストット・ポンニミット／著</p>	<p>ビッグイシュー日本</p>	<p>“mamアン”というのは、タイ語で“マンゴー”を表すそうです。マンゴーのような顔の主人公が登場する4コマ漫画です。 mamアンちゃんが発する言葉は奥が深く、哲学や人生訓を感じます。 読んでいて時にホロリと、またハッとさせられる、そんな一冊です。 (2023.9)</p>	<p>726</p>
	<p>謎解きガイドブック 京都 一陰陽師が隠した宝物</p>	<p>朝日新聞出版／編集</p>	<p>朝日新聞出版</p>	<p>—あなたは京都の名所に隠された謎が解けますか？— LINEを使ってネコ探偵と連絡を取り、陰陽師が残した宝物を探し出せ!! 現地で観光しながらや、自宅でもオンライン謎解きが楽しめます！ 友人や家族と、お出かけのおともにいかがですか？ (2023.7)</p>	<p>L291.6</p>
<p>NO IMAGE</p>	<p>暇な人、謎解きでもしませんか？</p>	<p>暇謎／著</p>	<p>幻冬舎</p>	<p>暇な人は全部一気に！暇じゃない人は息抜きに1問2問、謎解きしてみませんか？ この本では、レベルが3段階に分けられた謎が全60問載っています！ 最初のほうは、簡単なひらめきで解けるのでさくさく進みますが、段々と手強くなってきて解きがいがあります。 ヒントもあるのでぜひ挑戦してみてください！ (2023.7)</p>	<p>798</p>
	<p>誰にも相談できません</p>	<p>高橋源一郎／著</p>	<p>毎日新聞出版</p>	<p>毎日新聞の読者から寄せられたお悩み相談に、高橋源一郎が時に優しく、時に厳しく回答する。 続編『居場所がないのがつらいです』と共に読んでみてください。 自分の身を改めねば…と感じることがあるかもしれません。 (2023.7)</p>	<p>914/夕</p>

<p><b>NO IMAGE</b></p>	<p>ぞうのエルマー</p>	<p>デイビッド・マッキー ／ぶん・え 安西徹雄／やく</p>	<p>アリス館</p>	<p>エルマーは、パッチワークのぞう。 何故自分は、他のぞうと違うのだろうか悩んだりしますが… 訳者によって味わいも違います。当館所蔵の“安西徹雄”訳と、“きたむらさとし”訳を比べて みてください。 (2023. 7)</p>	<p>Eゾ</p>
	<p>北欧式 眠くならない数学 の本</p>	<p>クリスティン・ダール ／著 スヴェン・ノードク ヴィスト／絵 枇谷玲子／訳</p>	<p>三省堂</p>	<p>数学って楽しいかも…！ 数学の本と言うと、とても難しそうに聞こえますがこの本は違います！イラストや身近な例 が多用されていて読みやすく、理解がしやすいです。また、数学の定義や公式を使った遊び も紹介されているので、実際に遊びながら考えることができ、親子で楽しむことができます。 著者は「わたしたちはみんな数学者です」と書いています。 この本を読んで、あなたも不思議で楽しい数学の世界に触れてみませんか？ (2023. 5)</p>	<p>410</p>
	<p>ペギー・スー[1] 魔法の瞳をもつ少 女</p>	<p>セルジュ・ブリュソロ ／著 金子ゆき子／訳</p>	<p>角川書店</p>	<p>誰にも言えない・言っても信じてもらえない不思議な力を持つ少女が主人公。 人間を、宇宙を守るため、知恵と勇気で悪いおばけに立ち向かう！ 大人も子どもも楽しめる、スリル満点のお話です!! (2023. 5)</p>	<p>953/ブ</p>
	<p>どっちがどっち まぎらわしい生き ものたち</p>	<p>梁井 貴史/著</p>	<p>さくら舎</p>	<p>似て非なる生きもの、例えば“ドジョウ”と“ナマズ”、あなたはどこがどう違うのか、説 明できますか？また同じ“シャコ”という名前ですが違う生きものがあるなど、いろんな生 物がイラストを交えて紹介されています。名前の由来なども書かれており、これを完読すれ ば、あなたも立派な生きもの博士になれるかもしれません！ (2023. 5)</p>	<p>480</p>
<p><b>NO IMAGE</b></p>	<p>きみに聞いてほし い 広島に来た大統領</p>	<p>池上彰/翻訳 葉祥明/ 画</p>	<p>徳間書店</p>	<p>昔の戦争で唯一核爆弾を落とされた日本に、アメリカの大統領が初めて訪れた2016年。その 時の演説文が書かれた本です。核兵器の持つ力がいかに凄惨なものか、今ウクライナとロシア の戦争を目の当たりにしているからこそ、この本を読んで平和の大切さを考えたいと思いま す。子どもも大人もぜひ読んでみて下さい。 (2023. 5)</p>	<p>319</p>